

議会報

飯南

いinan

第65号
令和3年4月20日

- 02 3月議会報告 可決した主な議案
議会会議規則の改正
- 03 令和3年度一般会計予算
令和2年度各会計補正予算
- 04 令和3年度新たに取り組む事業
自治功労者表彰
- 05 一般質問
- 10 採決の結果
- 11 全員協議会の議題 議会活動報告
- 12 常任委員会報告
- 14 明日を拓く



3月定例会を終えて

3月8日から23日までの16日間で開催

新町長のもとで初めての定例議会が招集され、張り詰めた空気の中、議長の開会宣言で幕をあげた。町長の所信表明に、議員は町長の力量を推し量るように視線をおくった。

令和3年度予算は、予算編成時期に町長改選となったため、当初予算は骨格予算とし、6月定例会を目的に新町長の方針が補正予算として組み込まれることになる。とは言え、骨格予算でも例年の規模に迫る73億円余を計上した。少ない残余財源の中で、今後その手腕が問われる。

可決した主な議案

条例関係

飯南町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定など8件

補正予算

令和2年度飯南町一般会計補正予算(第11号)など3件

予算

令和3年度飯南町一般会計予算など7件

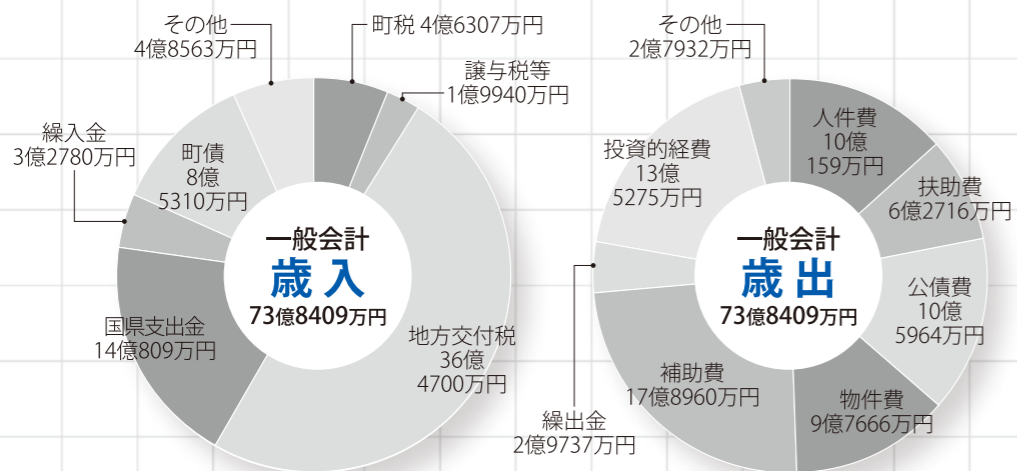
諸議案

- ・住宅使用料に関する権利(債権)の放棄など4件
- ・公の施設(角井自治会館)の指定管理者の指定など16件
- ・副町長の選任
- ・教育長の任命

議員提出議案

飯南町議会会議規則の一部を改正する規則

[令和3年度 一般会計予算]



一般会計・特別会計・事業会計の総額は **104億1511万円**

各会計		予算額
一般会計		73億8409万円
特別会計	国民健康保険事業	6億1299万円
	後期高齢者医療事業	1億7724万円
	介護保険サービス事業	3810万円
病院事業会計		12億5816万円
簡易水道事業会計		4億1891万円
下水道事業会計		5億2562万円

[令和2年度 各会計補正予算]

商業活性化重点支援事業5006万円の増額、飯南病院事業会計補助金2760万円の増額、機構集積協力金交付事業1002万円の増額、琴引スキ一場外臨時管理費2200万円の増額、および事業費確定見込みによる減額など

一般会計 9398万円 増額

会計名	補正予算額	予算総額
一般会計	9398万円	89億7309万円
特別会計		
国民健康保険事業	95万円	6億2526万円
病院事業会計	△80万円	13億7995万円

飯南町議会会議規則を一部改正

議会運営委員会から『飯南町議会会議規則』の一部改正について議案が提出され、可決した。改正概要は次のとおり。

●男女の性別に関わらず、誰でも議員活動と家庭生活とを両立できるようにするため「出産・育児・介護・看護」を議会本会議の正当な欠席事由にした。

出産による欠席の際には、産前・産後の一定期間を定め、あらかじめ欠席届を提出することができることとなった。

●請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願提出に関して、押印の義務付けを緩和し、氏名について署名した場合は押印の必要がなくなった(ゴム印を押したり印字されたもの、他人による代書など記名された場合は、今まで同様に押印が必要)。

一般質問

3月定例会



内藤 真一 議員



Q 町長就任時の最重要政策は人口減少対策だが、実現にはそれなりの方策提示が必要だ。宝島社の田舎暮らしの本では、住みたい田舎第1位だが、本町に移住した人は何人か。

出産祝い金、子育て応援金の支給をはじめ、保育所の無償化、中学生までの医療費の無償化などは他市町村に優る施策。しかし、定住につながっていないのではないかと。

町長は、どのような取り組みで人口減少対策をすすめる考えか。

Q人口減少対策



町長就任時の最重要政策は人口減少対策だが、実現にはそれなりの方策提示が必要だ。宝島社の田舎暮らしの本では、住みたい田舎第1位だが、本町に移住した人は何人か。

出産祝い金、子育て応援金の支給をはじめ、保育所の無償化、中学生までの医療費の無償化などは他市町村に優る施策。しかし、定住につながっていないのではないかと。

町長は、どのような取り組みで人口減少対策をすすめる考えか。

Aあらゆる手段を使い年少人口増やす

町長塚原隆昭

令和元年に、本町の定住相談窓口を通じて46名が転入、本年度はコロナ禍にありながらもリモート相談会など積極的に発信し40名程度が移住予定である。

公約の少子化対策では、ありとあらゆる手段を使い、0歳～14歳までの年少人口を増やしたい。出会い、結婚、安心して出産や子育てできる環境整備、不妊治療への支援、定住住宅の整備など、子育てに対する各種制度を、積極的にPRする。

その他「集落実態調査に基づく地域づくり計画」について質問した。

集落計画の実行にあたっては、ソフト・ハード事業を積極的に活用し、元気な地域づくりに取り組んで欲しいとの答弁があった。

Q 地域づくり事業協同組合は、地域の仕事を組み合わせ、組合で職員を雇用し、事業者に派遣するものだが、どのように事業を進めようとしているのか。

個人事業主も加入できるのか。現在の進捗状況はどうか。職員の配置も必要ではないか。周知はどこまでできているのか。

Q地域づくり事業協同組合の状況は

個人事業主の加入も可能だ。観光協会のように職員を派遣して行うことは考えていない。住民への周知は、組合が創立される今月、派遣労働者の募集にあわせ行う。

120事業所に意向調査し、最終的に15事業所が設立時の組合員となった。このうち5事業所の代表が発起人となり組合創立を進めている。

当初は4～5名の派遣労働者を雇用し、5年後には10名程度を考えている。

A5名の雇用を目指す

町長塚原隆昭

令和3年度 新たにに取り組む事業



①特定地域づくり事業協同組合推進事業 〈1027万円〉

安定した雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を作り、町内外の若者等を雇用し、人手が不足する組合員に派遣。

②コンビニ収納業務負担金 〈95万円〉 →12P

③マイナンバーカード交付促進事務 〈207万円〉

地域のサロンや事業所に出向いて申請を支援。

④新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 〈4649万円〉

ワクチンの接種を実施。また、ワクチンに関する質問に答える専用のコールセンターを設置。

⑤いいしクリーンセンター中継施設積換方式改造など 〈1億1020万円〉

中継施設の改造工事と大型パッカー車2台を購入。



いいしクリーンセンターの外観

⑥産地創生事業 〈769万円〉

保冷車を購入、あゆみ(株)へ運行を委託し出荷先拡大を目指す。

⑦乳用牛生産振興事業 〈4億1963万円〉

来島牧場が、国の「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」を活用し、施設を増強。→13P



来島牧場の牛舎

⑧農地耕作条件改善事業 〈1300万円〉

加田地区内で農地中間管理機構による農業用排水・区画整理・換地などが4年かけて実施。総事業費1億1500万円。

⑨町道整備事業 〈5016万円〉

新市赤名線(3666万円) 栗屋谷西線(730万円) 三日市中央線(620万円)

⑩通学路ブロック塀安全確保事業 〈53万円〉

通学路に加え、災害時の避難路に面したブロック塀などに安全対策を実施。

⑪県営赤名団地取得事業 〈2億85万円〉 →13P

⑫県道佐田八神線埋蔵文化財発掘調査事業 〈2390万円〉 →13P

自治功労者表彰受賞

2月16日に開催された島根県町村議会議長会定期総会において、小野覚議員が前島根県町村議会議長会副会長の功績により、また、瀧尻行雄議員、門真一郎議員が15年以上にわたる議員活動により、全国町村議会議長会から表彰状が授与された。



一般質問

3月定例会



瀧尻 行雄 議員

Q 中央集権と 地方自治

町長は、中央集権をどのようにとらえているか聞きたい。「自治」とは、地域に住む住民が主体で、自分たちの考えをしつかり持ち、行動するという意味合いであると認識している。失敗しても、自らが責任を持つというところに地域が発展し「自治」が育つといわれている。地域住民とどのように意思の疎通を保持していくのか。

A 住民目線で

町長 塚原隆昭

中央集権には特別な思いはない。政府の政策には「ノー」とも言えるが、実態としてはつきり「ノー」と言えないのが地方自治体である。財源を国・県頼みにしている市町村の立場だ。自治は、住民自らが地域の将来を考え、行動し、課題解決していくもので、そこに行政が背中を押す形で支援する。また、計画段階から一緒に関わっていくということもある。



座談会など広聴の場を通して、多くの住民と話し合う機会を大切に、住民目線で町政運営にあたる。

Q 農業継続の方策を

農業経営は、高齢化や人手不足などにより、継続が行き詰まりを起こしはしないか大きな不安がある。本町として早急に農業が、農地が将来にわたり守られ継続できるように、国や県へ相談を投げかけ、農業の体制を見直す時期ではないか。

実際に集落営農を任されている役員は、先頭に立って熱心に取り組んでおられる。一方で個々の農家は、組織に「まかせつきり」になるため無関心さが発生し、少しずつ心が離れていくという現実を感じる。農業が継続できる方策をどう考えているのか。



水田の粗起こし

A 攻めの姿勢で挑戦

町長 塚原隆昭

私の農業に対する基本的な考えは「生業となれる農業を目指す」ということ。そのためには、ブランド化であったり高収益作物を作るため水田園芸への転換を図ることも大事だ。併せて農作業の省力化、労働力を集積する組織の育成が必要で、本町では課題解決のため、飯南町担い手育成支援センターを設置し、県、JAと一緒に、担い手育成を進めていく。

これまでの農業を守っていくということは大事なことが、攻めの姿勢を持ちながら進めていかないと農業は守れない。新たな挑戦ができるよう考え努力していく。

一般質問

3月定例会



景山 登美男 議員

Q しごとと人材の確保を

本町では、これまで定住促進賃貸住宅やさまざまな助成金制度などの定住対策、また、保育料の減免や子どもの医療費免除を始めとする子育て支援制度、その他医療や教育などU・イターンの促進に取り組んできた。その成果は、宝島社が発行する雑誌「田舎暮らしの本」2021年2月号の「住みたい田舎」ベストランキングで、本町が「町」部門の3つのランキングで1位獲得という結果として表れている。

しかし、人口減少対策に終わりはなく、総合振興計画後期基本計画では、人口減少に向けて、U・イターンの増加を図り、社会増を実現するためには、安定した収入を得られる「しごと」の確保が必要となつているが、具体的にどのような進めるのか。

そのために企業誘致も考えていることだが、以前提案したサテライトオフィスも含めて、何か具体的な考えがあるのか。そうした中、広報いーなん

には同じ求人情報が継続して掲載されている。定住政策を進めるために、町内の企業や事業所の人材確保について、広報に情報を載せるだけでなく、もつと積極的に支援することはできないか。併せて、医療福祉以外の専門的な職種や資格の人材確保のために「医療及び福祉従事者確保対策助成金」のような助成金制度を考えることはできないか。



飯南高校でのジョブフェア

A 人材確保が基本

町長 塚原隆昭

定住対策は、町内の事業所への人材を確保することが基本だ。

そのうえで一番の理想は、U・イターンする若者が町内で起業し、自ら就きたい仕事を創出することだ。そうした起業に対して積極的に支援していきたい。

提案のサテライトオフィスについては、旧福島邸の空き部屋の活用も含めて進めていく。



人材確保支援センターでは、学校訪問による町内企業のPRや中学校の職場体験、飯南高校の就業体験、中高生を対象にしたジョブフェアなどを行っているが、なかなか町内の事業所に結びついていない。そのため、新年度は町内事業所のPRシートを作成して、情報発信に努めていきたい。

これまで給付型の奨学金制度を検討してきたが、業種や職種の限定が難しいということとで実施に至っていない。提案の助成金制度については、この奨学金も含めて検討する。

一般質問

3月定例会



門 眞一郎 議員

Q交通インフラの整備は

道は経済を運ぶといわれている。国道54号は、その役割を新たな道に奪われるとともに、本町への恩恵も小さくなってしまったが、この道が本町の生命線であるということは揺るぎない事実である。

前町長は、松江道へのアクセス道整備で本町が陸の孤島にならぬよう尽力されたが、任期中の実現は叶わなかった。私は、国道54号の2つの老朽



晴雲トンネル

化したトンネルの抜本的改良が必要であると訴えてきた。町長には、物流に優れたまちづくりの実現を期待している。考えを問う。

A積極的に要望

町長塚原隆昭

赤名峠と米子道、浜田道の3カ所が、集中的な大雪時には大規模な通行止めとなる可能性がある道として指定された。国は、防災・減災・国土強靱化の推進を進めているが、生活道が通行困難なままであっていいのかという考え方もある。

国道54号改良は、松江尾道の補完道としての機能を發揮するためにも、引き続き様々な機会を捉えて要望を続けなければならない。

尾道松江線へのアクセス道路は、広島県との県境を越えた道路の新設ということで、ハードルは高いと認識している。

今後も広島県、島根県、両県の関係自治体と協力して、要望活動を積極的に行っていくたい。

Q生産インフラの刷新が必要

農家や農業法人は、長く続いたデフレによって経営体力を失い、投資が困難だ。

自力で投資を行い回収できるような力をつけるまでの間、町がインフラ刷新のための資本を投下し、生産性向上に注力して行かなければならないと考える。町長の見解はどうか。

A生業となる農業を

町長塚原隆昭

私の基本理念は、生業となる農業を目指す。そして農業で生活できるような所得を上げていくということだ。



圃場整備(花栗 門)

ある。これの実現のために、飯南米のブランド化、水田園芸による高収益作物への転換、農業の省力化、そして労働力を集積する組織の育成など進めていきたい。

生業となる農業、そして所得の向上にはコストの削減や生産性の向上は不可欠であり、農業者や関係機関と議論し、今後の農業の在り方や方向性を見出ししていきたい。

必要な施設整備、基盤整備、新たな技術導入、インフラ整備については、財源の確保に向け検討を進め、本町の基幹産業をしっかりと守って、持続できる農業の実現を目指していきたい。

一般質問

3月定例会



高橋 英次 議員

Q前町長からの引継ぎは

① 医師、看護師などの人材育成と、地域包括医療・ケアの充実。

② 本町の福祉施設の在り方には、町も加わり検討が必要。

③ 少子化が進む中、学校統合を含め、子どもの教育に心配をされている保護者の方々に対して「本町の学校教育はこうします」といったメッセージの発信。



琴引フォレストパークスキー場

④ iまるシエ及び、琴引フォレストパークスキー場に求められる、採算ベースへの移行と経営健全化などをどのように受け止め、今後の町政に取り組むのか。

Aきちんと受け止め対応をする

町長塚原隆昭

① 地域医療・福祉の充実は絶対守って行かなくてはならない。

医師体制は、現体制の維持ができるよう、県や島根大学・関係病院との信頼関係を堅持し、医師確保に努める。

看護師は、医療従事者確保対策事業で確保できる見込みだ。薬剤師、臨床検査技師などの職種は充足できていないが、募集できていない。

福祉・医療だけではなく、地域包括ケア推進局や行政部署、住民の皆様と一体となつて、飯南町らしい地域包括医療・ケアの推進を進める。

② 町内には多くの高齢者福祉施設があり、事業主体も様々な形態がある。町全体の施設の在り方は福祉施設協議会と協議をしているが、結論には至っていない。次期介護保険計画には盛り込む必要がある。

③ 今後の飯南町の子供の教育に対する不安を払拭するため、明確なメッセージの発信は大事。今後関係者と議論を重ねる。

の検討ではなく、まず子どもを増やし数の確保をする。

④ iまるシエはコロナ禍の中、産直部門の販売実績は前年を上回っている。阪急オアシスに出荷ができなくなった生産者も、iまるシエに出荷することで減収分をいくらか補えている。存続に向けて考えているが、経営改善が見込まれなければ、抜本的対策も必要だ。

琴引フォレストパークスキー場は、島根国体開催に向け人工雪で安定したゲレンデ環境が提供でき、選手育成支援の場として、県にも理解していただいている。

アルペンの練習競技場、クロスカントリーのコース整備など、県の財政支援を含め今後努めて参りたい。

15年間の存続(令和15年3月)を考え施設整備をしているが、経営の専門家と運営計画を検討し存続に努める。



採決の結果

[3月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	瀧尻 行雄	門真 二郎	熊谷 兼樹	内藤 眞一	高橋 英次	景山 登美男	安部 丘
飯南町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
飯南町頓原防災拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
飯南町会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の改正	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
飯南町ふるさと応援寄附条例の改正	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
飯南町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の改正	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
飯南町園芸作物生産施設の設置及び管理に関する条例の改正	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の改正	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
飯南町医師・病院等職員住宅の設置及び管理に関する条例の改正	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(角井自治会館)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(都加賀介護予防拠点施設)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(長谷介護予防拠点施設)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(志津見集落活性化施設)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(滞在型市民農園)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(上赤名介護予防拠点施設)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(赤名ふれあい公園)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(谷農村公園)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(上赤名農村公園)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(頓原農業用機械格納庫)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町育苗センター)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町水稲種子集出荷選穀施設)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町きのこ生産施設)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(酒づくり交流館)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町障がい者共同生活支援施設)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(川尻公民館)の指定管理者の指定	可決	○	欠	○	○	除	○	○	○	○
住宅使用料に関する権利(債権)の放棄	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
水道料金に関する権利(債権)の放棄	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
診療収入に関する権利(債権)の放棄	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
雲南広域連合規約の一部を変更する規約	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第11号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町病院事業会計補正予算(第6号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町一般会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町介護保険サービス事業特別会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町病院事業会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町簡易水道事業会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町下水道事業会計予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○

[追加提案]

副町長の選任	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
教育長の任命	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○

[3月定例会における議員提出議案の採決結果]

飯南町議会会議規則の改正	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
--------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[臨時会(2月8日開催)]

教育委員会の委員の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 欠:欠席 除:除斥

全員協議会の議題

令和3年2月8日(月)

- ①第3次新型コロナウイルス感染症臨時交付金
- ②雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備に係る基本構想と民間計画
- ③頓原小中学校登校路路面検証

令和3年3月22日(月)

- ①飯南町定員管理計画
- ②住宅新築資金等貸付事業における時効援用の申出
- ③新型コロナウイルスワクチン接種
- ④頓原高齢者創作館(あゆみの里就労作業場)の売却
- ⑤低所得のひとり親世帯向けの給付金
- ⑥公共施設等総合管理計画における施設の個別方針策定
- ⑦森林資源活用林業魅力化プロジェクト～地域商社の立ち上げ
- ⑧中期財政計画
- ⑨飯南町人権施策推進基本方針の改定

議会活動報告 [1月～3月]

- | | |
|---|--|
| <p>1 5日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)</p> <p>8日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)</p> <p>2 8日 議会運営委員会：臨時議会の提出議案、日程外の協議
臨時議会、全員協議会</p> <p>16日 島根県町村議会議長会定期総会</p> <p>17日 雲南市・飯南町事務組合議会2月臨時会</p> <p>19日 雲南広域連合議会2月定例会</p> <p>22日 竹島の日記念式典</p> <p>26日 総務厚生常任委員会</p> | <p>3 3日 議会運営委員会：3月定例会の提出議案、日程外の協議</p> <p>8日 3月定例会：本会議、町長提出議案の説明</p> <p>9日：本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託</p> <p>12日：本会議、一般質問</p> <p>15日：委員会審査</p> <p>16日：委員会審査</p> <p>17日：委員会審査</p> <p>18日：委員会審査</p> <p>19日：委員会審査</p> <p>22日：委員会審査、予算特別委員会、全員協議会</p> <p>23日：本会議、討論、採決</p> <p>25日 雲南市・飯南町事務組合議会3月定例会</p> <p>26日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)</p> <p>31日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)</p> |
|---|--|

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長 門 眞一郎



飯南町育苗センター視察

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第11号)

琴引スキー場臨時管理費 2200万円

入込み客数が3万2000人に満たなかった場合の指定管理料。経営努力を求める意見があった。それに対し、経営判定アドバイザーに意見を聞きながら経営改善を図り、現在のルールを見直すなど実態に対応したいとの回答を得た。



リフト待ちするスキー客

令和3年度 飯南町一般会計予算

乳用牛生産振興事業 4億1963万円

㈱来島牧場が400頭から900頭に増頭するため、施設の増設を図る。2か年計画で総事業費は19億6852万円。

増頭にあたり、関係する集落と環境保全に関する協定書が交わされている。

県営赤名団地取得事業 2億85万円

平成21年から3か年で実施された県営住宅赤名団地(3棟16戸)は、建設時に取り交わした覚書に従い、県から町に移管される。

飯南町交流物産館経常管理費 1167万円

iまるシェの指定管理料と電気料などの経常管理費。

10年間の契約満了後(令和5年3月末)の対応については、令和3年度末までに判断する。

飯南高校コンソーシアム運營業務委託経費 579万円

㈱トビムシに委託し、高校魅力化を推進する。

この制度に乗るためには専任者を置く必要があると聞いているが、活動している姿を見ていない。高校や地域と連携して行くために幅広い活動が求められるとの意見があった。

今年度はコロナ禍で行動に制限があり、オンラインが中心となった。魅力化推進員の選任は県下一斉に行なわれている。他校との差別化を図るには、東京を拠点とする㈱トビムシへの委託が有利と考えていると回答があった。

面識のない人が本町と卒業生を繋ぐのは困難。本町で人間関係を構築し卒業生と本町との懸け橋となれるよう努力することを求めた。

埋蔵文化財発掘調査事業 2390万円

県道佐田八神線改良工事に伴い、獅子地内にある「城の越城跡」を発掘調査するためのもの。

現地を踏査したところ、のろし台と思われる遺構や一畑薬師の標柱などがあり、お伊勢峠とともに当時の街道を偲ばせる貴重な史跡と思われる。しっかりした調査を行うよう求めた。

常任委員会報告

総務厚生常任委員会

委員長 高橋 英次



定住促進賃貸住宅の新築確認(旧来島診療所跡地)

条例

飯南町頓原防災拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定

旧頓原小学校跡地に、ドクターヘリ離着陸場と消防ポンプ操法練習場が整備された。

飯南町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

旧来島診療所跡地に、定住促進賃貸住宅が4戸整備された。

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第11号)

【歳入】

一般寄付金 1022万円

4件5名の寄付があり、うち4名からは医療・福祉に役立ててほしいとの申し出があった。

ふるさと応援寄附金 7600万円

総額2億4800万円が見込まれ、これまでの最高額を大幅に更新する模様。

【歳出】

高齢者生活福祉センター臨時管理費 495万円

一般寄付金を活用し、高齢者生活福祉センターのエアコンと転落防止柵を改修する。

老人福祉臨時管理費 500万円

ストレッチャー対応車両の導入業者に、一般寄付金を活用しその一部を補助する。

令和3年度 飯南町一般会計予算

【歳出】

森林活用地方創生推進事業 1821万円

町内経済活性化のため地域商社を設立し、マーケティング、体験イベント、人材育成・発掘などを行う。

価値ある飯南暮らし創生事業 3237万円

地域におけるU・Iターンの移住者目標達成に向けた取り組みに対し、1集落500万円の支援と地域マネージャーの配置により、集落の維持・活性化を推進する。

特定地域づくり事業協同組合推進事業

1027万円

特定地域づくり事業協同組合の人件費および事務局運営費を支援することにより、人材確保・育成を図る。

収納促進対策事業 95万円

税金や国民健康保険料、水道料金などがコンビニで納付できるようになる。

長寿お祝い事業 47万円

敬老会を取りやめ、米寿・白寿・金婚を迎えられる方に記念品等を贈る。

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 4649万円

新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費。

消防団員報酬 714万円

団員270名の年報酬。現在、定員に達していないため団員確保の対策を求めた。

い〜にゃんワクワク子育てサロン

戸谷ひとみさん（寺沢）

サロンを立ち上げた思いは？

4年前から子育てママ向けの講座やイベントを数回開催しています。その活動を通して、子育てして行きて詰まりそうになつたときに、それを少しほぐせる場が必要なのではないかと思つていました。子育てママと話しているうちに、場所だけ借りて、何をするかは自由で出入りも自由、そんな集いをやってみようかということになり「い〜にゃんワクワク子育てサロン」をつくることになりました。

お母さんって、どうしても「自分のことは差し置いても子どものこと」になるので、私自身、とてもつらい時期がありました。

「お母さんも自分のことを



熱心に話される戸谷さん

もつと大事にして良いんだよ」「自分の時間を大事に」と、今はよく言われているんですけど、お母さんだから我慢しなきゃという気持ちの方がまだ多いのかな。自分のことが後回しになつてるんですよ。

子どもを置いて自分が楽しむことも時には必要で、そうやって自分が満たされてリラックスできれば、笑顔で子どもたちとも接することができるという良いこともあるんです。

経験者だから「そういうことが大事なんだよ」と伝えたい。

どんなコンセプトで活動を？

子育てママと子どもたちが交わる場を提供するだけで、何も難しいことはしません。ただ

場所を借りるだけです。親子だけだと、どうしても行き詰まる場所もあり、他の人が一緒にいるだけで心にもゆとりがでます。子ども同士で遊んでいる、そこに他のお母さんが関わっている。自分だけじゃない。気持ちがあだし自分も楽しめます。

町内のさまざまな場所で広く交流できる場を提供していけたらと思つています。「お母さんたちが開放感を感じられる」そんな場を提供したいなと思つています。

コロナ禍でこの一年は活動が制限されましたが、これから「どうやってやるうかなく」という感じ。ワクワクしています。



今後のサロンの行方をいつも考えています

今月の表紙写真



いつもは閑静な地域に、小さな子どもたちの歓声が響いていました。この日「い〜にゃんワクワク子育てサロン」が開催されていたのは旧小田小学校の体育館。集まった子どもたちは、ボール遊びやかけっこ、カルタ遊びなどをいっぱい楽しんでいました。運動しながらのマスクは少々辛いのではと思いましたが、息を切らして話し込んでいるお母さんたちの目はイキイキと輝いていました。

編集後記

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、本年1月に町長選挙が行われ、新たな町長が誕生した。

本定例会においては、新町長の施政方針を質す一般質問に5人が立った。主に、公約への考え方、どのように実現していくのか、前町長が取り組んだ事業をどのように引き継ぐのかというものであった。

我が国は、政府の失政で経済成長の歩みを止めて二十有余年になる。国家の繁栄を経験したことの無い若者が社会人となっている。

市町村はもとより、県もひび迫した予算の中で、何とか住民に幸せを感じてもらえる政治をと苦心^{さんたん}惨憺^{さんたん}しているが、報われているとは言い難い。「東京一極集中の打破」を掲げながら、インフラ投資は南関東に集中している現状がある。

新町長や議会は多くの仲間を作り、固く手を取り合つて、政府の誤りに対し「それは誤りである」と声を上げなくてはならないと感じる今日この頃である。

議会広報編集委員 門 眞一郎